

内閣府
総合知ワークショップ
@東京都市大学

学部から大学院まで一貫性のある イノベーション教育と総合知

「都市研究の都市大」を掲げる東京都市大学では、複合かつ急速にグローバルレベルで変化する社会課題に対してイノベティブなアイデアや解決策を生み出す教育研究を推進しています。

学部教育としては、全学部の1-3年生が履修する必修科目「SD PBL」や、トップアップ型の教育プログラム「ひらめき・こと・もの・暮らし・ひと」づくりプログラム、Next PBLなどを展開しています。それらは4年次の卒論、大学院での修論といった研究主体の教育の基盤となっており、さらに研究組織「未来都市研究機構」の専門分野を横断する研究へとつながっています。「総合知」とは、「多様な「知」が集い新たな価値を創出する「知の活力」を生むこと」と定義されていますが、本学で展開しているイノベーション教育の取り組みを例に、我が国における「総合知涵養のための一貫性のある大学教育」の重要性と方策について議論を深めたいと考えます。

日時

2024年6月6日(木)
14:00～17:00

定員

200名

オンラインでも配信

会場

東京都市大学
世田谷キャンパス
71B教室 (7号館1階)

参加対象

教員・研究者／一般社会人／政府関係・地方自治体や関連団体の担当者／世田谷6大学コンソーシアム等、テーマに関心のある方はどなたでも参加可能です。(高校生可)

プログラム

14:00	開会のご挨拶：東京都市大学 学長 野城 智也
14:10	ご挨拶：内閣府 『総合知』の基本的考え方及び推進について
14:25	東京都市大学における人材育成事例の紹介 ① 1年生から卒業研究までをつなぐ必修科目「SD PBL」 <ul style="list-style-type: none">● SD PBLと総合知：教育開発機構 教授 伊藤 通子● SD PBLで学んだこと：環境情報学研究所 環境情報学専攻1年 平綿 素望 ② イノベーション教育プログラム「ひらめきプログラム」 <ul style="list-style-type: none">● ひらめきプログラム／Next PBLと総合知：教育開発機構 教授 杉浦 正吾● ひらめきプログラムで学んだこと：理工学部 機械工学科4年 加藤 凜花 ③ 東京都市大学の学際的研究組織による未来都市研究 <ul style="list-style-type: none">● 異なる専門分野の学生による研究交流を通じた総合知の涵養：都市生活学部 都市生活学科 准教授 末繁 雄一
15:50	休憩
16:00	全体ディスカッション ● 「総合知涵養のための一貫性のある大学教育とは」：司会 内閣府
16:55	閉会のご挨拶：東京都市大学 副学長（研究担当）柴田 随道

締め切り

5月31日(金)

申し込み方法

参加申し込みフォーム

参加費無料
オンラインで配信も行います。



フォームよりお申し込みください。
オンライン配信を申し込まれた方は、後日
接続方法をお知らせします。



東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

主催

東京都市大学 教育開発機構／東京都市大学 研究委員会／内閣府

問い合わせ先

東京都市大学 総合企画部 ☎ kikaku-koho@tcu.ac.jp ☎ 03-6809-7450